

令和3年度第2回光市環境審議会（書面開催）
結果報告書

1 会議の名称

令和3年度第2回光市環境審議会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催といたしました。

2 開催日

令和4年3月17日

3 議事及び提出意見等

(1) 議事

ア 第3次光市環境基本計画骨子案について

イ 第3次光市環境基本計画における「目指す環境像」について

ウ 第3次光市環境基本計画における「リーディングプロジェクト」について

(2) 委員から提出された意見等

ア 第3次光市環境基本計画骨子案について

○（第2次光市環境基本計画）後期リーディングプロジェクトに関して、新型コロナウイルス感染症対策を理由に思うように進捗しなかった項目は、これまでの良い流れに逆行した項目も見られる。コロナ禍で市民の行動様式にどのような変化があったかを詳しく調査し、それに見合う新たな方策・目標があっても良いと思う。

○ 環境学習・体験学習等は、規模を縮小してでも対面で実施する道を模索してほしい。

○ MOTTA INAIプロジェクトにおいては、フードロスという観点でも直接的な目標があっても良いと思う。

○ 書面開催だけでなく、コロナ対策を取りながら意見交換の場を設けてほしい。

○ 「第3章 光市が目指す姿」、「第5章 地球温暖化への対策」、「第6章 リーディングプロジェクト」については、議論が必要と考える。

○ 計画策定について、参考となる資料や情報等を委員に提供してほしい。

○ 環境情勢は刻一刻と変化しているため、5年後の見直しを基本としても、必要に応じて計画を変更する対応も必要だと思う。

イ 第3次光市環境基本計画における「目指す環境像」について

- 第3次光市環境基本計画では、SDGsにとって節目となる2030年をまたぐことになるので、特に目標11「住み続けられるまちづくり」を強く意識した言葉を、光市らしく加えると良いと思う。

【例】ひかり続ける ～人が自然が未来がきらめくふるさとへ～

※まちを大切にしつつける、目標に向かって行動し続けるなどの意味を持つ

- 中高生アンケートの結果にある、「自然を守る（大切に）」、「ポイ捨てをしない、海洋ごみを削減する」、「住み続けられる持続可能な」といった意見を具現化するとともに、活動の継続性を維持するために、年代別の実効性のある自分の目標を決めるといった、一人ひとりの行動計画の作成があってもいいのではないか。
- 「持続可能な豊かで住みやすい生活環境」の視点を取り入れた環境像にしてほしい。

ウ 第3次光市環境基本計画における「リーディングプロジェクト」について

- 食品ロスに関しては、直接的な目標を定めて取り組んでほしい。
- 環境学習に関しては、近隣組織等との連携を図り、ワークショップ（体験学習）は、更なる拡充を検討してほしい。
- 公共交通機関の利用促進においては、拡充とEVの普及とを合わせて検討していただきたい。
- 新しく住宅を建てる際の太陽光発電設備設置の義務化をし、災害対応などにも結び付ける。
- 休耕田に太陽光発電設備を設置し、森林を保全するとともに、太陽光発電設備のもとで栽培に適した農作物を栽培するなどの活用を図る。
- 「目指す環境像」を明確にしてから、改めて議論すべきと思う。
- 「身近にできる地球と財布にやさしいエコライフの取組」という観点から、取り組むべき課題や問題点等を抽出し、課題を解決するためのプロジェクトを検討してほしい。
- EVの促進化（購入補助金、EVステーションの整備など）をお願いしたい。